
講 演 題 目

○地球惑星科学関連学会 2008 年合同大会プログラム
火山学会担当セッション (春季大会)

期 日: 2008 年 5 月 25 日 (日)~29 日 (木)

場 所: 幕張メッセ国際会議場

5 月 26 日 (月)

活動的火山

(座長: 中川光弘・及川輝樹)

V151-001 文字史料と噴火堆積物を照合して組み立てた
浅間山 1108 年噴火の詳細シナリオ

早川由紀夫

V151-002 江戸時代の公文記録 (江川文書, 大島差出帳)
にみる伊豆大島安永噴火 (1777 to 1792) の噴
火現象, 避難計画, 復興支援について

津久井雅志

V151-003 絵図・古地図を利用した噴煙活動史の構築
及川輝樹

V151-004 火山活動の推移の予測について研究者の意見
が一致しないときの対応

須藤 茂

V151-005 千島列島の日露米の地球科学的調査研究 (概
要)

中川光弘

V151-006 火山噴火の中期予測へ向けて: 伊豆大島火山
における噴火準備過程の再検討

渡辺秀文

V151-007 1999 年構造探査データによる伊豆大島火山
の地震波反射断面

筒井智樹・伊豆大島火山構造探査グルー
プ・渡辺秀文

(座長: 宇津木充・村瀬雅之)

V151-008 有珠山 2000 年新山域の比抵抗構造と貫入マ
グマ

橋本武志・小川康雄・高倉伸一ほか

V151-009 桜島火山における AMT 法比抵抗構造調査
桜島電磁気構造探査グループ・神田 径

V151-010 桜島火山及び始良カルデラに於ける空中磁気
観測

宇津木充・桜島電磁気構造探査グループ・
神田 径

V151-011 桜島火山と周辺域の重力異常

駒澤正夫・中村佳重郎・山本圭吾ほか

V151-012 桜島・始良カルデラ周辺における GPS 観測
によるマグマ蓄積量の見積り

井口正人・鈴木敦生・植木貞人ほか

V151-013 繰返し GPS 観測による樽前山の地殻変動
(1997-2007)

森 濟・鈴木敦生

V151-014 水準測量により検出された台湾大屯火山群の
上下変動 (2006 年 6 月-2007 年 8 月)

村瀬雅之・石川溪太・Lin Cheng-Horng ほか

(座長: 相澤広記・小園誠史)

V151-015 開口型火道内マグマ上昇と地殻変動

西村太志

V151-016 溶岩ドーム噴火における火道中のマグマの空
隙率変化

小園誠史・小屋口剛博

V151-017 火道・噴煙統合モデルの構築に向けて (その 1)
火口における噴出条件とマグマ溜りの圧力の
関係

小屋口剛博・小園誠史・鈴木雄治郎

V151-018 地殻変動と相対応力場から推定した雲仙火山
におけるマグマ溜りモデル—有限要素法とス
トレステンソルインバージョン法による解析

河野裕希・松本 聡・松島 健ほか

V151-019 噴気地から放出される熱・水量の新しい測定
手法—室内実験による検証—

寺田暁彦・大島弘光・鍵山恒臣

V151-020 阿蘇火山における火口湖を通じた熱活動

寺田暁彦・鍵山恒臣・橋本武志ほか

V151-021 自然電位と比抵抗構造から推測する火山体内
部の熱水系モデル

相澤広記・小川康雄・長岡信太郎ほか

(座長: 筒井智樹・高木朗充)

V151-022 桜島昭和火口の 2008 年 2 月の噴火活動

気象庁地震火山部火山課・福岡管区気象
台・鹿児島地方気象台・北川貞之

V151-023 雌阿寒岳 2008 年 1 月 9-11 日群発地震時に観
測された地下水水位変化

高橋浩晃・柴田智郎・秋田藤夫ほか

V151-024 GPS 時間変化から推定する圧力源パラメータ
伊豆大島への適用

高木朗充・山里 平・福井敬一ほか

- V151-025 伊豆大島火山の地震活動:「弱点としての火山」の拡張
森田裕一
- V151-026 Spectra and Source Parameter of High-Frequency Events at Kuchinoerabujima Volcano
Hetty Triastuty・井口正人・為栗 健
- V151-027 浅間山山頂観測網により判明した噴火前後の類似性—火道内部の解明を目指して—
武尾 実・大湊隆雄・青木陽介ほか
- V151-028 擬似反射記録法の孤立型火山性微動への適用:火山構造のS波イメージングと火山性微動源域探査の可能性についての検討
筒井智樹
- ポスターセッション
活動的火山
- V151-P001 トカラ列島の火山の噴煙史—国絵図を利用した噴煙史の構築—
及川輝樹・中野 俊
- V151-P002 蝦夷(北海道および南千島)の火山の噴煙史—古地図を利用した噴煙史の構築—
及川輝樹
- V151-P003 千島弧北部パラムシル島, チクラチキ火山・フッサ火山の噴火史調査
廣瀬 亘・石塚吉浩・吉本充宏ほか
- V151-P004 国後島南部地域における火山噴出物・津波堆積物調査~北方四島ビザなし地震火山専門家交流~
高橋 良・長谷川 健・古川竜太ほか
- V151-P005 中部千島の諸島における地質学的・火山灰層序学的調査: KBP2007 の成果から
石塚吉浩・中川光弘・馬場 章ほか
- V151-P006 千島弧南部, 択捉島における火山地質調査
古川竜太・笠原 稔・廣瀬 亘ほか
- V151-P007 エベコ火山東部から放出される火山性物質のフラックス
高橋正明・風早康平
- V151-P008 岩手火山の浅部比抵抗構造と地下のマグマの移動
相澤広記・小川康雄・長岡信太郎ほか
- V151-P009 蔵王火山, 1895年噴出物の特徴と噴火の推移
三浦光太郎・伴 雅雄・紺谷和生ほか
- V151-P010 2007年に発見された磐梯山の1888年噴火の写真について
佐藤 公・中村洋一
- V151-P011 草津白根山火口湖湯釜湖水硫黄同位体比の長期変動
清水 惇・大場 武
- V151-P012 伊豆大島火山1951年溶岩流の表面形態
小栗尚樹・宮本 毅・後藤章夫ほか
- V151-P013 伊豆大島・新島から採取した炭化木・土壌のAMS-14C測定による伊豆弧北部流紋岩質火山の噴火年代
齋藤公一滝・宮入陽介・松崎浩之ほか
- V151-P014 御嶽山の2007年秋の山頂域における臨時地震観測と震源再決定
橋田 悠・中道治久・石川溪太ほか
- V151-P015 御嶽山における絶対重力測定で検出された潮汐共鳴現象(その2)
田中俊行・田中寅夫・木股文昭ほか
- V151-P016 焼岳火山下堀沢溶岩の層序とマグマ組成
橋本真也・三宅康幸
- V151-P017 火砕サージの衝撃力—雲仙普賢岳1990-1995年噴火の家屋被害の例—
長井大輔
- V151-P018 阿蘇中岳北東麓に分布する玄武岩質火砕流堆積物の岩石学的特徴
堀 直之・三好雅也・長谷中利昭
- V151-P019 新燃岳-享保噴火最末期火砕流の分布及び産状(序報)
筒井正明・小林哲夫
- V151-P020 霧島山新燃岳山頂部におけるGPS観測で捉えられた地殻変動と有限要素法を用いた変動源推定—変動源推定への火口地形の影響—
福井敬一・鳥巢啓多・小枝智幸ほか
- V151-P021 桜島火山における地磁気観測による火山活動監視の可能性の検討
小木曾仁・生駒良友・瀧沢倫明ほか
- V151-P022 桜島火山2007年-2005年空中磁気データから検出された磁気異常変化
大久保綾子・宇津木充・神田 径ほか
- V151-P023 InSAR および水準測量データによる桜島火山の火山活動に伴う地盤変動
山本圭吾
- V151-P024 桜島火山における火山性地震観測の強化
為栗 健・井口正人・高山鉄朗ほか
- V151-P025 桜島昭和火口2008年噴火で発生した爆発的噴火に伴う空振
坂井孝行・山里 平・中村清隆ほか
- V151-P026 空気振動及び地震動から推定する噴火の強

度

山里 平・坂井孝行・加藤幸司

V151-P027 火山噴火に伴い発生する地震波形と空振波形の同時解析

大湊隆雄

V151-P028 B型地震群発活動および火山性微動に伴う地盤変動について

立尾有騎・井口正人

V151-P029 火山噴火シナリオ作成手法の予察的な検討
村上 亮・川村 淳・大井貴夫ほか

5月25日(日)

火山・火成活動とマグマ

(座長: 佐藤鋭一・荻津 達)

V152-001 東アジア大陸内部の活火山の深部構造と起源
趙 大鵬・植木真人・太田雄策

V152-002 火山岩から読み解く上部マントルにおけるメルト生成プロセス: 韓国 Chugaryon 火山からの制約

柵山徹也・長岡信治・檀原 徹ほか

V152-003 島弧下マントルの溶融条件とテクトニクスの関係

荻津 達・小澤一仁

V152-004 東北日本仙岩地域におけるマントルウェッジ中の H₂O 分布と島弧マグマの起源

上木賢太・岩森 光

V152-005 始良珪長質マグマにおける斑晶と包有物の組成変化と揮発性物質の起源

今泉光智哲・沢田順弘・松田優子ほか

V152-006 斑晶ガラス包有物からみたマグマの上昇・下降と CO₂ に富むガス供給: 富士火山 864 年噴火のケーススタディ

古川晃子・安田 敦・藤井敏嗣

V152-007 結晶数密度—結晶度マイクロライト・システムティックスの意味

寅丸敦志・三輪学央

V152-008 雲仙普賢岳 1991-1995 年溶岩ドーム噴火, マグマ混合におけるマグマポケットの効果

佐藤鋭一

V152-009 異なるマグマ供給系からの同時噴火によって形成された浅間火山離山溶岩ドーム

高橋正樹・鶴巻亮一・安井真也ほか

V152-010 鮮新世海川火山岩類中の角閃石に富む苦鉄質包有物の鉍同位体及び化学組成変化

山口真喜子・山本佳明・藤林紀枝

V152-011 秋田県一の目瀧火山放出物中の輝岩, 輝石角

閃石岩の結晶作用と親メルトの組成

亀 聡実・石田直之・藤林紀枝

V152-012 Calc-alkalic vs. tholeiitic series revisited: a radical view

巽 好幸・高橋俊郎・平原由香ほか

ポスターセッション

火山・火成活動とマグマ

V152-P001 Arc Basalt Simulator, a simulation model for arc basalts: modeling scheme and application to the IBM arc

木村純一・吉田武義・Stern Robert J.

V152-P002 東北日本の未分化な輝岩, カンラン石ガブローゼノリス中の単斜輝石微量元素化学組成を用いたメルト組成の検討

藤林紀枝・木村純一・小川麻衣子ほか

V152-P003 九州火山岩組成にみられる沈み込み成分の空間変化: 島弧下マントル組成へのフィリピン海プレートの寄与の度合い

下野まどか・三好雅也・長谷中利昭ほか

V152-P004 火山フロントに産する玄武岩質マグマの Ca に富む斜長石斑晶の含水量

浜田盛久・川本竜彦・藤井敏嗣

V152-P005 結晶分別によるマグマの組成散乱一定式化と応用—

西村光史

V152-P006 マグマ溜り固液境界層分化の理解に向けて: 室戸岬斑れい岩体, 特に斜長岩脈の研究

星出隆志・小畑正明

V152-P007 キラウエアソレライトのサブリキダスでの粘性係数測定

齋藤将孝・佐藤博明・石橋秀巳ほか

V152-P008 ODP Leg206, Hole 1256D 海嶺玄武岩のサブリキダスでの粘性係数測定

中村秀明・佐藤博明・石橋秀巳ほか

V152-P009 利尻火山下におけるマグマ生成過程—1: マントルの累進的融解過程を記録したアルカリ玄武岩溶岩流

栗谷 豪・横山哲也・中村栄三

V152-P010 樽前火山 1909 年溶岩ドームの岩石学

立尾有騎・佐藤博明

V152-P011 蔵王火山, 駒草平火砕岩のマグマ供給系の変遷

武部義宜・伴 雅雄

V152-P012 男体火山 12ka 噴火の推移とマグマ溜り
石崎泰男

- V152-P013 東北日本, 朝日山地東部における断層活動・マagma活動とヘリウム同位体比との関連
二ノ宮 淳・梅田浩司・根本健之
- V152-P014 中部日本, 中信高原北西縁部, 美ヶ原高原と三峰山周辺に分布する火山岩の K-Ar 年代
向井理史・西来邦章・松本哲一ほか
- V152-P015 長野県大門峠周辺に分布する火山岩類の K-Ar 年代: ハヶ岳中信高原地域の流紋岩質火山岩の活動時期
西来邦章・及川輝樹・松本哲一ほか
- V152-P016 南ハヶ岳火山群 最初期噴出物の層序の再検討
荻野目泰基・西来邦章
- V152-P017 子持火山の放射状岩脈群のマagma貫入方向
下司信夫
- V152-P018 上野玄武岩類坂下岩体の古地磁気方位と火山学的解釈
渡邊由貴・星 博幸
- V152-P019 西暦 886 年噴火の新島羽伏浦火砕流・大峯火砕丘堆積物の残留磁化と定置温度
中岡礼奈・鎌田桂子
- V152-P020 火山列島, 南硫黄島火山の地質
中野 俊
- V152-P021 小笠原群島列島の地質と岩石学的特徴~古第三紀太平洋プレート沈み込み初期の火成活動
金山恭子・海野 進・石塚 治
- V152-P022 富士火山, 古富士期のマagma組成の時間変化について
安田 敦・藤井敏嗣・金子隆之
- V152-P023 隠岐島後における後期新生代苦鉄質火山岩類の全岩と鉱物組成からみた時代変化
沢田順弘・小野晋和・田山良一
- V152-P024 大分県姫島に産する流紋岩の流理構造の成因について
中野貴之・寅丸敦志
- V152-P025 桜島火山大正溶岩の斜長石の破砕度
安井真也
- V152-P026 九州南部〜トカラ列島および沖縄トラフの火山岩の K-Ar 年代
小林哲夫・棚瀬充史
- 江原幸雄
- V170-002 火山体浅部における比抵抗構造と熱水流動との関係
小森省吾・鍵山恒臣・宇津木 充ほか
- V170-003 自然電位から推定される有珠火山の熱水系 (2)
長谷英彰・橋本武志・西田泰典ほか
- V170-004 阿蘇火山噴煙組成から推定される火口湖と火山ガスの相互作用
篠原宏志
- V170-005 霧島地域における温泉水中の希土類元素の地球化学的挙動
河村真悟・石橋純一郎・赤木 右
- V170-006 長崎県雲仙地獄のハイポジーン酸性変質作用
田口幸洋・久保有未・吉井創一朗ほか
- 火山の熱水系**
(座長: 篠原宏志)
- V170-007 日本の 1km グリッド地熱資源量評価 2008: 熱水系から浅部マagmaをみる
村岡洋文・阪口圭一・佐々木 進ほか
- V170-008 箱根山中央火口丘地熱地帯の火山ガス組成に見られる多様性とその解釈
大場 武・澤 毅・平 徳泰ほか
- V170-009 鹿児島湾若尊火口内を充填する未固結堆積層内に発達する熱水循環系の地球化学的研究
山中寿朗・前藤晃太郎・千葉 仁ほか
- V170-010 阿蘇火山火口湖周辺の火山性流体輸送モデル
寺田暁彦・橋本武志・鍵山恒臣ほか
- V170-011 九重火山地域の熱水系における深部熱源の役割
蘭 幸太郎・江原幸雄・藤光康宏
- V170-012 熱水系シミュレーションによる鬼首・鳴子火山下のマagma溜りの構造と定置年代の推定
齋藤龍郎・梅田浩司
- ポスターセッション**
- 火山の熱水系**
- V170-P001 地形の影響を考慮した熱水流動に伴う熱磁気・圧磁気効果モデルの開発
大久保綾子・神田 径・中塚 正ほか
- V170-P002 アトサヌプリ火山の熱水系: 噴気化学組成および安定同位体比による推定
平 徳泰・大場 武・大和田道子ほか
- V170-P003 樽前火山溶岩ドーム周辺の 3 次元比抵抗構造と噴気活動
山谷祐介・橋本武志・茂木 透ほか
- 5月27日(火)**
火山の熱水系
(座長: 藤光康宏)
- V170-001 熱水流動と微小地震発生の関係

- V170-P004 秋田焼山の自然電位—1983年からの電位変化
田中佑奈・坂中伸也・松島喜雄ほか
- V170-P005 Shallow seismic structure of Onikobe geyser, Miyagi Prefecture based on the analyses of active seismic experiment data
Anggono Titi・西村太志・佐藤春夫ほか
- V170-P006 群馬県草津白根山熱水系におけるハロゲン元素
柏木 祐・村松康行・大場 武
- V170-P007 地熱坑井内からの試料直接採取による長野県小谷地域の地熱流体の地球化学的研究
三好陽子・河村真悟・石橋純一郎ほか
- V170-P008 AMT 電磁探査から推定される伊豆大島火山の熱水系
高倉伸一・鬼澤真也・松島喜雄ほか
- V170-P009 九重火山の観測結果のデータベース化と1995年噴火前後の熱水系の数値モデリング
藤光康宏・井手千清・江原幸雄ほか
- V170-P010 熱水変質からみた火山体内部の熱水系: 雲仙 USDP-4 掘削の例
濱崎聡志・森下祐一・星住英夫ほか
- V170-P011 霧島火山群・硫黄山周辺における浅部比抵抗構造
宇内克成
- V170-P012 始良カルデラ内の熱流量分布
藤野恵子・山中寿朗・江原幸雄
- V170-P013 桜島山体斜面の熱赤外映像観測
横尾亮彦・井口正人
- V170-P014 火山の熱水系と浅層地温・浅層土壌ガス—インドネシア火山の例—
江原幸雄・藤光康宏・福岡晃一郎ほか
- 5月27日(火)
火成活動研究への新アプローチ: 理工学連携と新手法
(座長: 奥村 聡・吉村俊平)
- V230-001 利尻火山下におけるマグマ生成過程—2: スラブ由来超臨界流体の流入によるマンツルのフラックス融解
栗谷 豪・横山哲也・中村栄三
- V230-002 1次元伝導的冷却場における2成分共融系の結晶化カイネティクスの数値シミュレーション
松本光央・寅丸敦志
- V230-003 流紋岩質メルトの発泡に伴う H₂O-CO₂ 成分の拡散分別
吉村俊平・中村美千彦
- V230-004 火山噴出物・実験生成物試料の透気試験: マグマの脱ガス過程の理解に向けて
竹内晋吾・中嶋 悟・東宮昭彦
- V230-005 火山噴火における爆発地震強度支配機構
三輪学央・寅丸敦志
- V230-006 自動火山灰採取装置を用いた活動的火山の観測
嶋野岳人
(座長: 嶋野岳人・三輪学央)
- V230-007 火山噴煙の3次元モデルによる数値実験: 噴煙柱の乱流混合効率
鈴木雄治郎・小屋口剛博
- V230-008 三宅島火山噴煙断面の二酸化硫黄濃度分布のトモグラフィ
風早竜之介・森 俊哉・風早康平ほか
- V230-009 火山噴煙中の二酸化硫黄量分布の紫外イメージング
森 俊哉
- V230-010 無人観測機 SKY-1 の野外調査道具としての性能試験
佐伯和人
- V230-011 火山体の宇宙線ミュオンラジオグラフィ
田中宏幸
- V230-012 マイクロ波による火山活動観測の可能性と実施計画
高野 忠・吉田真吾・服部克巳
- ポスターセッション
火成活動研究への新アプローチ: 理工学連携と新手法
- V230-P001 非定常マグマ上昇過程の数値シミュレーション: 気泡流と噴霧流
井田喜明
- V230-P002 Nonlinear physics in bubble 'buku-buku' process with application to quasi-periodic volcanic eruptions
Vidal Valerie・市原美恵・Ripepe Maurizio
ほか
- V230-P003 高速減圧実験により得られる珪長質マグマの気泡数密度
浜田盛久・Laporte Didier・Cluzel Nicolas
ほか
- V230-P004 マグマの浸透率の再検討: 一連の発泡・破碎過程における進化
中村美千彦・竹内晋吾・大瀧恵一
- V230-P005 急減圧に伴う発泡粘弾性体の破碎現象

- 島貫 延・亀田正治・市原美恵
 V230-P006 発泡したマグマの脆性破壊に対する実験的
 制約: 剪断破壊・破砕は脱ガスの引金とな
 るか?
 奥村 聡・中村美千彦・上杉健太郎ほか
 V230-P007 乱流ブルームの形状進化: 実験的アプローチ
 北村翔吾・隅田育郎
 V230-P008 砂山形成の物理過程研究の現状と問題点
 ～スコリアコーンの堆積構造の理解に向け
 て～
 渡辺俊一・金子克哉
 V230-P009 海に流入する火砕流とそれに伴い発生する
 津波の振る舞い
 前野 深・今村文彦

5月25日(日)

カルデラ生成場のテクトニクスと噴火準備過程

(座長: 竹村恵二・鍵山恒臣)

- V231-001 何が山頂噴火とダイク貫入(山腹割れ目噴
 火)の違いを決めるのか—1986年伊豆大島噴
 火を一例として—
 森田裕一
 V231-002 測地学的手法による過去の噴火未遂事件の発
 掘—古い浅部貫入ダイクが今でも見える—
 村上 亮
 V231-003 始良カルデラ形成時のマグマ供給系の構造と
 噴火プロセス
 坂東道子・中川光弘
 V231-004 北海道東部のテフラ層序からみた後屈斜路カ
 ルデラ火山活動
 長谷川健・岸本博志・中川光弘ほか
 V231-005 陥没カルデラの形成とテクトニクス: 西南日
 本弧中期中新世カルデラ火山群の例
 三浦大助・和田穰隆
 V231-006 前期更新世, 白河火砕流群の化学組成変化と
 下部地殻ストーピングの証拠
 山元孝広

ポスターセッション

カルデラ生成場のテクトニクスと噴火準備過程

- V231-P001 カルデラ生成噴火の準備過程解明のための
 作業仮説の提案
 鍵山恒臣
 V231-P002 九州中部比抵抗構造の再解析
 小山崇夫・宗包浩志・鍵山恒臣ほか
 V231-P003 2000年三宅島火山活動におけるカルデラ

- 形成開始直前に断続的に起こるマグマ溜まりの膨張
 小林知勝・大湊隆雄・井田喜明ほか
 V231-P004 箱根火山・強羅潜在カルデラの地質とその
 意義
 萬年一剛
 V231-P005 「濁川型カルデラ」の再検討
 水垣桂子・萬年一剛
 V231-P006 北海道東部, 屈斜路軽石流堆積物IVの岩
 相変化からみる屈斜路カルデラ形成噴火の
 噴火推移とマグマ供給系
 松本亜希子・長谷川 健・中川光弘
 V231-P007 斑晶累帯構造および斑晶ガラス包有物に基
 づく屈斜路火山及び摩周火山のマグマプロ
 セスの解明に関する研究
 宮城磯治・伊藤順一・Nguyen Hoang ほか
 V231-P008 沼沢火山のBC3400年カルデラ形成噴火
 (沼沢湖噴火)のマグマ溜り
 増淵佳子・石崎泰男
 V231-P009 紀伊半島中央部, 大峯地域の火砕岩(tuffite)
 岩脈: 火砕噴火の推定火道の産状
 和田穰隆・長澤可奈子
 V231-P010 阿蘇火山の大規模噴火における珪長質およ
 び苦鉄質マグマの生成に関する地球化学的
 制約
 金子克哉・小屋口剛博・高橋俊郎

○特定非営利活動法人日本火山学会 2008年秋季大会
 プログラム

期 日: 2008年10月10日(金)~14日(火)

場 所: 岩手大学工学部

10月11日(土)

火山防災と教育

(座長: 須藤 茂・佐藤 公)

- A01 2008年における1888(明治21)年の磐梯山噴火
 写真のデータベース
 ○佐藤 公・中村洋一
 A02 桜島火山における野外博物館活動
 ○津根 明
 A03 火山活動推移予測の定量化に向けての試み
 ○須藤 茂
 A04 原子力関連施設設置に関する火山災害影響評価に
 ついて
 ○中田節也・C. Connor・B.E. Hill・W. Aspinall・
 J-C. Komorowski 他5名

- A05 GEO Grid 火山重力流シミュレーションシステム
一次世代リアルタイムハザードマップの試み—
○宝田晋治・児玉信介・山本直孝・中村良介・
在岡 舞・山本浩万・中野 司

シミュレーション・観測技術

(座長: 新堀敏基・實測哲也)

- A06 無人観測機 SKY-1 研究の展開
○佐伯和人
- A07 活動的火山における火山灰の連続サンプリング
○嶋野岳人
- A08 航空機搭載型放射伝達スペクトルスキヤナ (ARTS)
による桜島の試験観測結果
○實測哲也
- A09 火山灰移流拡散モデルの現業化—降灰予報の業務
開始について—
○新堀敏基・相川百合・清野直子
- A10 リモートセンシング技術を用いた火砕堆積物量の
推定—桜島の事例—
○北川貞之・福井敬一・安藤 忍

火山の物質科学 (1)

(座長: 松本亜希子・鹿野和彦)

- A11 山頂噴火と山腹噴火のマグマ供給系の比較: 南千
島国後島, 爺爺岳火山の 1812 年および 1973 年噴
火の岩石学的研究
○中川光弘・松本亜希子・吉本充宏・石崎泰
男・石塚吉浩・廣瀬 亘
- A12 北海道東部, 雄阿寒火山の形成史と噴火年代
○玉田純一・中川光弘
- A13 北海道東部, 屈斜路カルデラ形成噴火 KpIV にお
ける噴出マグマの特徴と時間変化
○松本亜希子・長谷川健・中川光弘
- A14 テフラ GIS を活用した東北地方の火山ハザード
マップ
○小荒井衛・鈴木毅彦・中山大地
- A15 日本海拡大時のマグマ活動の広域変化: 前期-中
期中新世の北海道中央部における玄武岩質火山岩
の地球化学的特徴
○古堅千絵・中川光弘・廣瀬 亘・足立佳子
- A16 下北半島, 恐山火山の火山活動史: マグマ噴出
率, 噴火様式等の長期的変化
○荒川武久・岡島靖司・水上啓司・志村 聡・
宮脇理一郎・百瀬 貢・小林 淳 他 1 名
- A17 南部北上・広田累帯深成岩体の形成プロセス
○瀧谷直樹・吉田武義・長橋良隆

- A18 田沢湖カルデラに辰子堆溶岩ドームが噴出した時
期
○鹿野和彦・石塚 治・大口健志・狐崎長環

火山素過程

(座長: 竹内晋吾・鈴木雄治郎)

- B11 一定の減圧速度で発泡する珪長質マグマの浸透率
の変化
○竹内晋吾・東宮昭彦・篠原宏志
- B12 H₂O に富む気泡と CO₂ に富む流体の化学的相互
作用
○吉村俊平・中村美千彦
- B13 間欠的な爆発的噴火における火道浅部の脱ガスプ
ロセス 浅間火山天明噴火のケーススタディ
○佐藤典子・中村美千彦
- B14 含水玄武岩質ガラスの加熱時における特異な発泡
の発生機構と発生条件についての研究
○幾世宏志・佐伯和人・土山 明・中野 司・
上杉健太郎・奥村 聡
- B15 泡のぶくぶく現象の変動と周囲微小気泡の影響
○市原美恵
- B16 火山噴煙柱における物理量プロファイル変化とそ
の乱流混合効率への影響
○鈴木雄治郎・小屋口剛博
- B17 2008 年岩手・宮城内陸地震の鬼首間欠泉への影響
○西村太志・植木貞人・市原美恵

15:15-15:30

- B18 ストロンボリ火山の噴火映像と高速度収録された
空振波形の解析
○後藤章夫・Ripepe Maurizio・Lacanna Giorgio

10月12日(日)

火山の物質科学 (2)

(座長: 伊藤順一・伴 雅雄・佐野貴司)

- A19 岩手山大地獄谷火山ガスを形成するマグマ端成分
エンタルピーの低さと火山体構造の関係
○大場 武・平林順一・野上健治・澤 毅・
風早康平・森川徳敏・大和田道子
- A20 岩手火山, 西岩手カルデラ形成に伴うマグマシス
テムの変化=噴出物の同位体組成変化に基づく検
討=
○伊藤順一・Nguyen Hoang
- A21 蔵王火山, 駒草平火砕岩の斑晶組織・化学組成と
マグマ供給系の進化
○武部義宜・伴 雅雄
- A22 沈み込み帯形成初期における島弧火成活動の特徴

～小笠原母島離島火山岩類の全岩主要・微量元素組成からの考察～

○金山恭子・海野 進・石塚 治

A23 伊豆大島火山における地殻内マグマ長距離移動の検討 —大島周辺海底火山体調査速報—

○石塚 治・川辺禎久・中野 俊・荒井晃作・辻野 匠・下司信夫・坂本 泉 他3名

A24 噴出物と史料にもとづく伊豆大島大規模噴火の推移—1552年天文噴火(Y₃), 1684年貞享噴火(Y₂), 1777年安永噴火(Y₁)の検討—

○津久井雅志

A25 西暦886年新島で発生したマグマ水蒸気爆発に伴う羽伏浦火砕流の噴出機構—古地磁気学的手法を用いた推定定置温度による考察

○中岡礼奈・鎌田桂子

A26 東伊豆単成火山群および伊豆弧における流紋岩質マグマの²³⁸U/²³⁰Th放射能強度比

○高橋賢臣・栗原雄一・佐藤 純

A27 富士火山青木ヶ原玄武岩質溶岩の斑晶斜長石について

○小林由布子・高橋正樹・安井真也

A28 帯磁率異方性からみたコールドロン内強溶結凝灰岩の内部構造: 東山梨火山深成複合岩体の例

○金丸龍夫・高橋正樹

11:45-12:00

A29 富士山宝永噴火の際に千葉県佐原で採取された火山灰

○佐野貴司・海老原淳・野村篤志・青木 司・宮地直道

火山の物質科学 (3)

(座長: 高橋正樹・宮縁育夫)

A30 宮内庁で見つかった磐梯火山1888年噴火の写真—写真の修復と検証—

○千葉茂樹・佐藤 公

A31 “浅間火山B, B', A 降下軽石中に含まれる石質岩片の成因”

○吉瀬 毅・中村美千彦・安井真也

A32 成層火山を構成する火砕岩の定置機構: 浅間黒斑火山の例

○高橋正樹・市川寛海・金丸龍夫・安井真也

A33 北海道雌阿寒岳の火山熱水系

○平 徳泰・大場 武・大和田道子・森川徳敏・風早康平

A34 草津白根山火口湖「溜釜」の底質間隙水の化学組成

○木川田喜一・内田麻美・大井隆夫

A35 炭化物片を含む火砕流堆積物—植生破壊をおこした室生火砕流堆積物の初期噴火—

○佐藤隆春・別所孝範・古山勝彦・茅原芳正・山本俊哉

A36 低発泡度の流紋岩岩片で構成される火砕丘の形成過程: 九州北東部, 姫島火山群の例

○石川 徹・鎌田桂子

A37 開放的な累進的融解によるマグマ生成—北西九州, 北松浦玄武岩からの制約

○柵山徹也・中井俊一・角野浩史・小澤一仁

A38 阿蘇火山中岳火口湖(湯だまり)における水温・溶存成分濃度の変動解析

○寺田暁彦・吉川 慎・橋本武志・鎌山恒臣・佐々木寿

A39 阿蘇火山中岳第1火口で採取された湖底堆積物(予報)

○宮縁育夫・寺田暁彦

A40 “霧島火山群, えびの高原周辺における最近10,000年間の噴火活動史”

○田島靖久・松尾雄一・松岡 暁・庄司達弥・伊藤英之・小林哲夫

10月13日(月)

火山の物質科学 (4)

(座長: 中村仁美・宮本 毅)

A41 SO₂ degassing observed at Japanese volcanoes using an ultra-violet imaging camera

○Bouquet Thomas・Watson Matthew・木下紀正

A42 桜島の灰噴火におけるマグマ脱ガスプロセス: 火山灰に含まれる斑晶ガラス包有物

○宮城磯治

A43 硫黄島島の火山地質

○小林哲夫・中野 俊

A44 中朝国境, 白頭山10世紀噴火の地球化学的特徴から見たマグマシステム

○西本潤平・中川光弘・宮本 毅・谷口宏充

A45 基盤の傾斜によって支配される海底溶岩流の形態変移—しんかい6500による東太平洋海膨南緯14度の海膨軸横断調査結果

○海野 進・岸本清行・ヒルデ トーマス W. C.・下司信夫・熊谷英憲・ホホワイト スコット M.・シントン ジョン M.

A46 “Miocene magmatism in the NE part of the Carpatho-Pannonian Basin, Central Europe — Geochemical approach —”

- Krassay Zita・Tsukui Masashi
- A47 ニイラゴンゴ火山シャヘル側火山内の調査:一溶岩樹木や火口壁面の割目から推定されるもの一
○浜口博之・シラバ M.・ムカンビルワ K.・カセレカ M.
- A48 二重の沈み込み場における火山フロント:スラブ流体からの制約
○中村仁美・岩森 光・木村純一
- A49 初生的な島弧玄武岩マグマは水に富む Ca に富む斜長石斑晶の水素含有量からの制約
○浜田盛久・川本竜彦・藤井敏嗣
- A50 水より軽い火砕物密度流により津波は発生するか?
○前野 深・今村文彦
- A51 マグマ発生条件の火山岩主要元素組成を用いた推定方法:部分溶融度, 圧力, 含水量, 溶融温度
○荻津 達

10月11日(土)

火山の地震・テクトニクス

(座長: 山本 希・上田英樹)

- B01 粘弾性的火道の地震波伝播への影響—数値モデリングによる考察—
○山本 希
- B02 海底火山活動に伴って発生する地震波動の海域シミュレーションに有効な差分コードの開発
○竹中博士・中村武史・金田義行
- B03 1998年マグマ貫入以降の岩手火山における地震活動
○植木貞人・太田雄策・趙 大鵬・平原 聡・中山貴史・西村太志・田中 聡
- B04 2008年浅間山小規模噴火について(序報)
○武尾 実・大湊隆雄・卜部 卓・前田裕太・鈴木由岐・古川晃子・市原美恵 他15名
- B05 小笠原硫黄島で観測された超長周期振動現象
○上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄
- B06 Temporal change in spectra of monochromatic earthquakes associated with increase in seismicity at Kuchinoerabujima volcano
○Triastuty Hetty・井口正人・為栗 健
- B07 Temporal Changes of Seismic Velocity of Shallow Structure Associated with the 2000 Miyakejima Volcano Activity
○Anggono Titi・Nishimura Takesh・Sato Haruo・Ueda Hideki・Ukawa Motoo
- B08 阿蘇火山中央火口丘の浅部地震反射断面(その2)

- 坂口弘訓・筒井智樹・沢田順弘
- B09 レシーバ関数による阿蘇カルデラの地殻構造解析
○安部祐希・大倉敬宏・平原和朗・加藤 護・澁谷拓郎
- B10 長白山型の活火山とその世界的分布
○趙 大鵬・山本芳裕

地殻変動(1)

(座長: 小澤 拓・高木朗充)

- B19 小笠原硫黄島カルデラの地殻変動に伴う重力変化
○鶴川元雄・藤田英輔・上田英樹・野崎京三
- B20 PALSAR 干渉解析から得られた小笠原硫黄島の地殻変動—2006年末から2008年中頃までの時間推移—
○小澤 拓・上田英樹・鶴川元雄
- B21 ALOS/PALSAR データを用いた干渉 SAR で見た諏訪之瀬島の地殻変動
○及川 純・青木陽介・古屋正人・井口正人
- B22 地殻変動源推定への火口地形の影響 —霧島山新燃岳山頂部におけるGPS観測を事例に
○福井敬一・坂井孝行・鳥巢啓多・小枝智幸・高木朗充
- B23 2008年岩手宮城内陸地震前に発生していた地殻変動とその意義
○村上 亮
- B24 水準測量による地殻変動から推定される神津島における圧力源
○木股文昭・石川溪太・村瀬雅之
- B25 吾妻山の地震活動に伴う地殻変動
○山崎伸行・近江克也・高木朗充
- B26 桜島昭和火口噴火に伴う地盤変動の特徴
○井口正人・横尾亮彦・為栗 健
- B27 桜島南岳におけるB型地震群発および火山性微動発生に先行する地盤変動について
○立尾有騎・井口正人
- B28 伊豆大島火山の中期噴火予測へ向けて(2): 山体膨張と地中CO₂濃度の長期変動
○渡辺秀文
- B29 伊豆大島における現在のマグマ蓄積過程 複合ダイクモデルに基づく解析
○森田裕一

地殻変動(2)・火山化学

(座長: 村瀬雅之・大和田道子)

- B30 測地学的データから推定する1979-2000三宅島圧力源体積時間依存モデル

- 村瀬雅之・高野和友・木股文昭
- B31 回転楕円体圧力源による変位を表す経験式（第2報）—FE解析結果に最小二乗法を適用しての係数決定—
○坂井孝行・福井敬一・高木朗充・山里 平
- B32 個別要素法による岩脈貫入シミュレーション（1）
○藤田英輔
- B33 草津白根山湯釜火口で確認された噴気活動と臨時観測
○野上健治・山脇輝夫・気象庁火山部・前橋地方気象台
- B34 岩手山周辺地域におけるマグマ性揮発性物質フラックス—地下水流動系を介したフラックスの見積り—
○大和田道子・風早康平・伊藤順一・高橋正明・森川徳敏・高橋 浩・稲村明彦 他4名

火山電磁気学

（座長：座長：相澤広記・鬼澤真也）

- B35 岩手山における自然電位観測と数値シミュレーション
○長谷英彰・松島喜雄・伊藤順一・石戸経士・坂中伸也
- B36 三宅島で捉えられた長周期地震にともなう地電位差変動の起源
○桑野 修・吉田真吾・中谷正生・上嶋 誠
- B37 伊豆大島火山1950年噴火フェイズIに伴う地磁気変化の再検討—（その2）楕円体の磁気源
○笹井洋一
- B38 伊豆大島火山における自然電位マッピング観測—天水浸透と比抵抗構造の効果—
○鬼澤真也・松島喜雄・石戸経士・長谷英彰・高倉伸一・西 祐司
- B39 伊豆大島における自然電位連続観測
○松島喜雄・鬼澤真也・長谷英彰・高倉伸一・西 祐司・石戸恒雄
- B40 桜島火山雷起源の地電流パルス
○相澤広記・神田 径・小川康雄・横尾亮彦

10月11日

ポスターセッション

- P01 千島列島におけるテフラ層序と火山ガラス組成の広域変化
馬場 章・中川光弘・石塚吉浩・Fitzhugh Ben
- P02 北海道西部、新第三紀藻岩山火山のマグマ混合過程
青柳大介・岡村 聡

- P03 氷箱熱流計測（IBC）による有珠2000年新山の放熱率評価—1977年噴火後のマグマ冷却過程との比較—
寺田暁彦・吉川 慎・大島弘光・松島喜雄・鍵山恒臣
- P04 有珠山西山火口周辺での地温・電磁気・水質調査
田村 慎・高橋徹哉・秋田藤夫・岡崎紀俊・柴田智郎・橋本武志・茂木 透
- P05 恵山火山の噴火史と階段図
三浦大助・荒井健一・土志田潔・落合達也・田中倫久・飯田高弘
- P06 岩手火山における重力探査
住田達哉・牧野雅彦・渡邊史郎・伊藤順一
- P07 岩手山における火山熱水系の数値シミュレーション
松島喜雄
- P08 岩手山の火山泥流堆積物と土石流堆積物
花田 類・越谷 信・土井宣夫・菅原泰丞・野田 賢
- P09 岩手県高倉火山における噴出物のSiO₂量と岩石学的特徴からみた組成変化
中谷咲子・藤縄明彦
- P10 板状貫入岩体の冷却分化過程：山形県青沢ドレライトの単斜輝石の化学組成と微細組織からの制約
高田悠志・小澤一仁
- P11 安達太良火山南東部の地質と岩石
伊藤太久・武富健一郎・藤縄明彦
- P12 沼沢火山BC3400年カルデラ形成噴火（沼沢湖噴火）の推移
増淵佳子・石崎泰男
- P13 沼沢湖噴火（紀元前3400年）で噴出した2種類の本質デイサイト質軽石（その2）
石崎泰男・増淵佳子・青野泰大
- P14 浅間山2008年8月10日微噴火に見られるマグマ物質について
鈴木由希・古川晃子・中田節也・藤井敏嗣・渡邊篤志・小山悦郎
- P15 小諸層群から読み取れる長野県東部の火山活動史
高橋 康・三宅康幸
- P16 北アルプス、焼岳火山の下堀沢溶岩噴出時のマグマの噴出過程
橋本真也・三宅康幸
- P17 中部日本、八柱火山群の火山活動史
西来邦章・高橋 康
- P18 “南八ヶ岳地域、地獄谷周辺における火山層序の再検討”
柳澤宏成

- P19 南八ヶ岳地域における初期の火山活動の再検討
荻野目泰基・西来邦章
- P20 小御岳火山から古富士火山に至るマグマシステム
の変化
安田 敦・藤井敏嗣・金子隆之
- P21 箱根火山大涌谷地熱地帯周辺の噴気ガスについて
代田 寧・棚田俊收・板寺一洋
- P22 伊豆半島及び周辺地域の火成活動史
石塚 治・及川輝樹
- P23 FT年代、微化石年代に基づく伊豆半島の火成活
動史
及川輝樹・石塚 治
- P24 伊豆大島火山新时期大島層群噴火年代の再検討
川辺禎久
- P25 弥生時代の噴火罹災遺跡からみた八丁平カルデラ
形成後の噴火とその影響
新堀賢志・杉山浩平・池谷信之・忍澤成規
- P26 Atmospheric dispersal of volcanic SO₂ at Miyakejima
Bouquet Thomas・木下紀正・藤原宏章・稲葉
和弘
- P27 明神礁 1952-53年噴火の噴火現象と堆積物の対比
嶋野岳人・谷健一郎・宿野浩司・鈴木雄治郎・
前野 深・下田 玄・フィスケ リチャード
- P29 紀伊半島中央部、宮ノ谷複合岩脈の産状から推定
されるマグマ混合
高島紫野・和田稯隆・新正裕尚
- P30 紀伊半島中央部、中奥火砕岩岩脈における帯磁率
異方性
北嶋亜以子・鎌田桂子・和田稯隆
- P31 青野山火山群、鍋山火山の岩石学的研究
丸本和徳・永尾隆志
- P32 阿武火山群、伊良尾火山の噴火史(その1)―農道
建設により見出された火山噴出物の層序と特徴―
堀川義之・永尾隆志・清杉孝司
- P33 長崎県福江島富江火山に産するパホイホイ溶岩の
形態と岩石組織
佐藤 彰・永尾隆志・堀川義之・堀江智敬
- P34 始良カルデラ形成前駆的なマグマ活動: マグマ混
合の可能性
関口悠子・長谷中利昭
- P35 桜島火山大正噴火東側火口に関する再検討
佐々木寿・小林哲夫
- P36 桜島における2008年2月に発生した噴火の降灰
分布について
田島靖久
- P37 TEPHRA2による桜島火山の降灰シミュレーション
稲倉寛仁・西園幸久・Connor Charles・Connor
Laura・小林哲夫
- P38 桜島昭和火口の噴火活動と噴火に伴う震動波形に
ついて
加藤幸司・山里 平・増田与志郎
- P39 紫外線カメラを用いた桜島、南岳火口及び昭和火
口の火山噴煙中二酸化硫黄イメージング及びその
定量
風早竜之介・森 俊哉
- P40 桜島における熱赤外映像観測
横尾亮彦
- P41 桜島火山における絶対重力連続観測
風間卓仁・井口正人・山本圭吾・菅野貴之・田
中愛幸・松本滋夫・孫 文科
- P42 MT連続観測による桜島火山浅部の比抵抗変化
相澤広記・神田 徑・小川康雄・井口正人
- P43 マグマプラグ内流体の状態: 桜島ブルカノ式噴火
前の増圧における重要性
三輪学央・寅丸敦志
- P44 桜島2008年の噴火プロセス考察
宮城磯治・伊藤順一・篠原宏志・鹿兒島地方気
象台
- P45 霧島、大幡山周辺における鬼界 アカホヤ噴火前
後の火山活動
筒井正明・小林哲夫
- P46 鬼界カルデラ・竹島の火山地質
小林哲夫
- P47 九州パラオ海嶺北部火山岩に認められる高温、低
温変質作用による二次鉱物の同定
原口 悟
- P48 インドネシア、ロンボク島におけるカルデラ形成
噴火に先行する火山活動の長期噴出率とその変化
土志田潔・高田 亮・古川竜太・Nasution Asnawir
- P49 EM2の化学的特徴をもつサモア、Tutuila島火山
岩に見出された2種の初生マグマ
川畑 博・羽生 毅・木村純一・常 青・賞
雅朝子・巽 好幸
- P50 中米・エルサルバドル、イロパングカルデラ3~5
世紀噴火の影響の再評価
北村 繁
- P51 熱力学計算のマンツル溶融への適用
上木賢太・岩森 光
- P52 噴火警戒レベルとその運用について
北川貞之
- P54 火山噴火時の情報収集におけるSAR衛星画像の
適用について

- 本田 健・鶴殿俊昭・鈴木 崇・柴山卓史
- P55 ALOS/PALSAR データによる干渉 SAR 解析により得られた有珠山頂および 2000 年噴火口域の収縮性地殻変動
小林知勝・森 濟・鈴木敦生・大島弘光
- P56 干渉 SAR で見た東北地方の活火山周辺における地殻変動
安藤 忍・北川貞之
- P57 “Changes in stress accompanying the 2004 eruption of Mt. Asama, Japan as measured by seismic anisotropy and GPS”
Savage Martha・Ohminato Takao・Aoki Yosuke・Tsuji Hiroshi
- P58 阿蘇火山における GPS 観測
大倉敬宏・及川 純
- P59 北マリアナ諸島アナタハン火山における測地観測
松島 健・田部井隆雄・渡部 豪・加藤照之・森田裕一・前野 深・渡邊篤志
- P60 2004 年 9 月の浅間山連続微噴火の再検討
青山 裕・武尾 実
- P61 高粘性流体中の気泡の振動・破裂で発生する空振の実験的研究
小林 宰・隅田育郎・並木敦子
- P62 火砕サージの衝撃力ー雲仙普賢岳 1993 年噴火災害の例ー
長井大輔
- P63 マグマの浸透流的脱ガス:気泡の形状緩和とマグマの圧密の効果
奥村 聡・中村美千彦
- P64 一定でない流体圧による開口クラック周辺の変位と応力場
楠本成寿・Gudmundsson Agust
- P65 熱水流動に伴うピエゾ磁気効果の評価モデルの開発とメラピ火山への適用
大久保綾子・神田 徑
- P66 火山周辺の電気伝導度分布への火山ガス散逸の寄与
小森省吾・鍵山恒臣
- P67 CSAMT 調査による箱根大涌谷における浅部比抵抗イメージ
棚田俊收
- P68 無人ヘリコプターを用いた伊豆大島三原山における空中磁気測量
小山崇夫・金子隆之・安田 敦・武尾 実・柳澤孝寿・本多嘉明・梶原康司
- P69 三宅島の三次元磁気構造
小山 薫・笹原 昇・熊川浩一
- P70 八丈島西山(八丈富士)火山の AMT 法比抵抗探査
山谷祐介・長谷英彰・長尾年恭・原田 誠・谷口裕紀・富永紘次・中村憲二
- P71 伽藍岳火山周辺の表層比抵抗分布
鍵山恒臣・宇津木充・吉川 慎・寺田暁彦